

経営比較分析表（令和3年度決算）

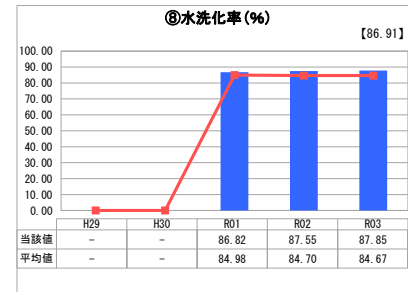
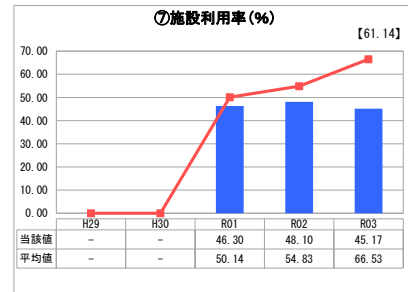
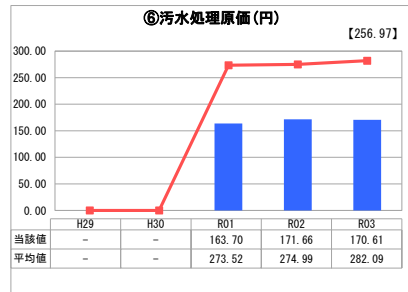
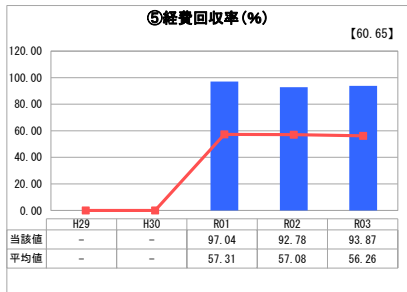
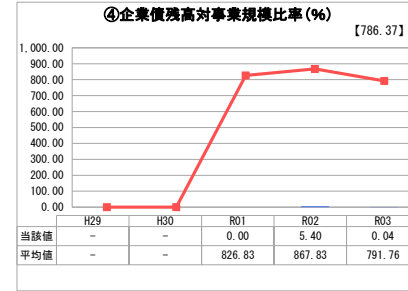
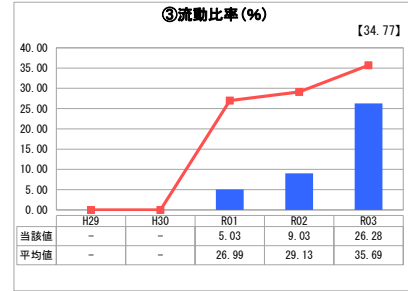
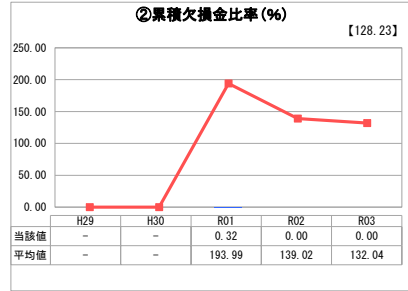
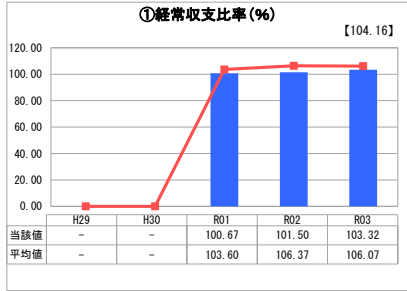
石川県 志賀町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	52.84	27.85	94.49	3,300

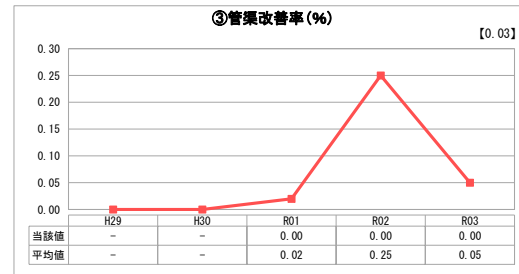
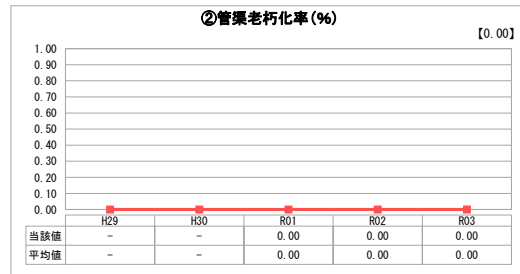
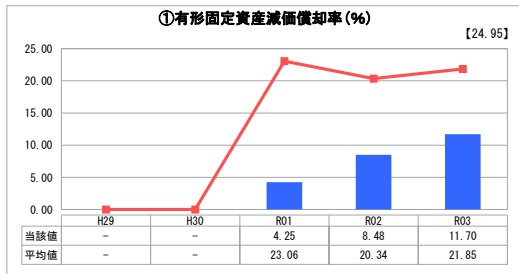
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
19,178	246.76	77.72
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,292	5.46	969.23

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
指標は100%を超えているが、町からの繰入金に頼る面が大きい。今後も維持管理費等の抑制に努める。

③流動比率・④企業債残高対事業規模比率
経営戦略に基づき、将来における下水道使用料の見直しに取組み、またストックマネジメント計画により設備の改築・更新を効率的に行い、新規企業債を抑制しながら、単年度における収支バランスを図っていく。

⑤経費回収率
類似団体平均値との比較では、高い数値で推移しており、前年度比も上昇傾向にある。今後も更なる汚水処理費の削減を図りながら経営改善に努めていく。

⑥汚水処理原価
類似団体平均値と比較し、低い数値で推移しており、今後も経営安定化を図るため、維持管理費の抑制に努める。

⑦施設利用率
類似団体平均値と比較し、低い数値となっているが、人口減少によるものと推測される。今後は、経営の効率化に向け、施設の統廃合を検討していく。

⑧水洗化率
類似団体平均値とほぼ同じ数値であるが、今後も未接続者に対し、早期接続を推進しながら水洗化率の向上に努める。

2. 老朽化の状況について

町内16カ所の処理場は、供用開始後20年以上を経過した施設が大半を占めている。特に場内に設置されている機械設備等は、耐用年数が超過しているものも多い。

このことから今後、施設の統廃合を検討・整備しながら、維持管理費のコストを削減するとともに、施設設備の改築・更新費用を抑制していく。

管渠施設の老朽化については、供用開始から年数が浅いため、指標に表れていないが、将来において計画に基づき、効率的に更新を行っていく。

全体総括

農業集落排水事業は、町内16カ所に整備されているが、事業の性格上、中山間部の集落が大部分を占めるため、高齢化・人口減少に伴う経営の悪化が危惧されている。

このことから、持続した経営を維持するため、将来的に公共下水道や隣接処理区との統廃合を図り、下水道事業全体の維持管理費の削減を現行し、経営の安定化に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。